

8-4-4 業務体系WG

1. 主な活動の記録

(1) 活動目標

建設コンサルタントの事業領域のうち、主として、社会資本の建設事業や維持管理・更新事業における建設コンサルタントの役割について、建設コンサルタンツ協会としての基本的な考え方について検討する。

検討成果として、建設コンサルタントの役割に関する基本的な考え方が明確化されることにより、建設コンサルタンツ協会として、様々な発注者、施工者との協議において、一貫性のある意見を発信することが可能になることが期待される。

検討内容としては、平成28年度「要望と提案」に盛り込まれた「修繕工事の技術的課題に対応した入札契約制度の参考例、「修繕工事」の入札契約方式比較表(案)」、さらに「新設工事」の入札契約方式比較表(案)」を基本として、各入札契約方針における特性の整理、検討を行ってきた。

具体的には、調査・計画、概略・予備設計、詳細設計、施工といった各段階における役割分担、さらに発注者を補完する役割、各入札契約方式のメリット、デメリットとしての品質、生産性の評価内容の妥当性等について検討する。

2. 実績報告

社会資本の建設事業や維持管理・更新事業における建設コンサルタントの役割について、過年度に引き続き、以下の点について検討を行った。

(1) 具体的な検討概要

- ・鋼橋においては(一社)日本橋梁建設協会(以下、橋建協)と、PC橋においては(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会(以下、PC建協)と各々の共同勉強会を実施し、双方の課題と連携による課題解決に向けた調達制度を検討し基礎資料を作成した。
- ・検討する入札契約方式は以下の2種類である。

○(R-1方式)設計の受注者が工事段階で関与する方式

○(R-2方式)工事の受注者が設計段階から関与する方式(ECI方式)

(2) 具体的な活動成果

- ・令和元年度に改訂された「国土交通省直轄工事における技術提案・交渉方式の運用ガイドライン、R2.1」の内容を把握する。(改定点の明確化)
- ・実務における設計者、施工者それぞれへのヒアリング(良い点、課題)
- ・建コンとそれぞれの協会で鋼橋、PC橋に対し、改善意見や運用への要望、良い点についてガイドラインを踏まえて整理した。
- ・橋建協とは以前作成した「今後の橋梁保全事業の在り方(H23.7)」の報告書を技術内容の更新に伴い改訂する。この中に取り込む合意を図り、役割分担(以下参照)、目次を作成した。(WG毎に両協会の委員を配置)
 - WG1: 品質・基準
 - WG2: 役割分担・契約方式
 - WG3: 積算
- ・PC建協とはガイドラインの改訂項目、運用への要望、良い点として取りまとめ、意見交換会の基礎資料とした。

3. 次年度の活動について

- (1) 橋梁保全事業における調査、設計及び施工の契約方式のあり方
- (2) 事業特性等に応じた多様な入札契約方式における建設コンサルタントの役割、関与のあり方
上記2つの個別課題について、建設コンサルタントの設計者としての役割、関与のあり方、契約方式について、継続して検討、提案を行う。

また、設計者と施工者の連携による契約方式に関しても引き続き両協会(橋建協、PC建協)と具体的な提案内容を整理し、報告書としての完成を目指す。

(業務体系WG WG長 岩上 憲一)